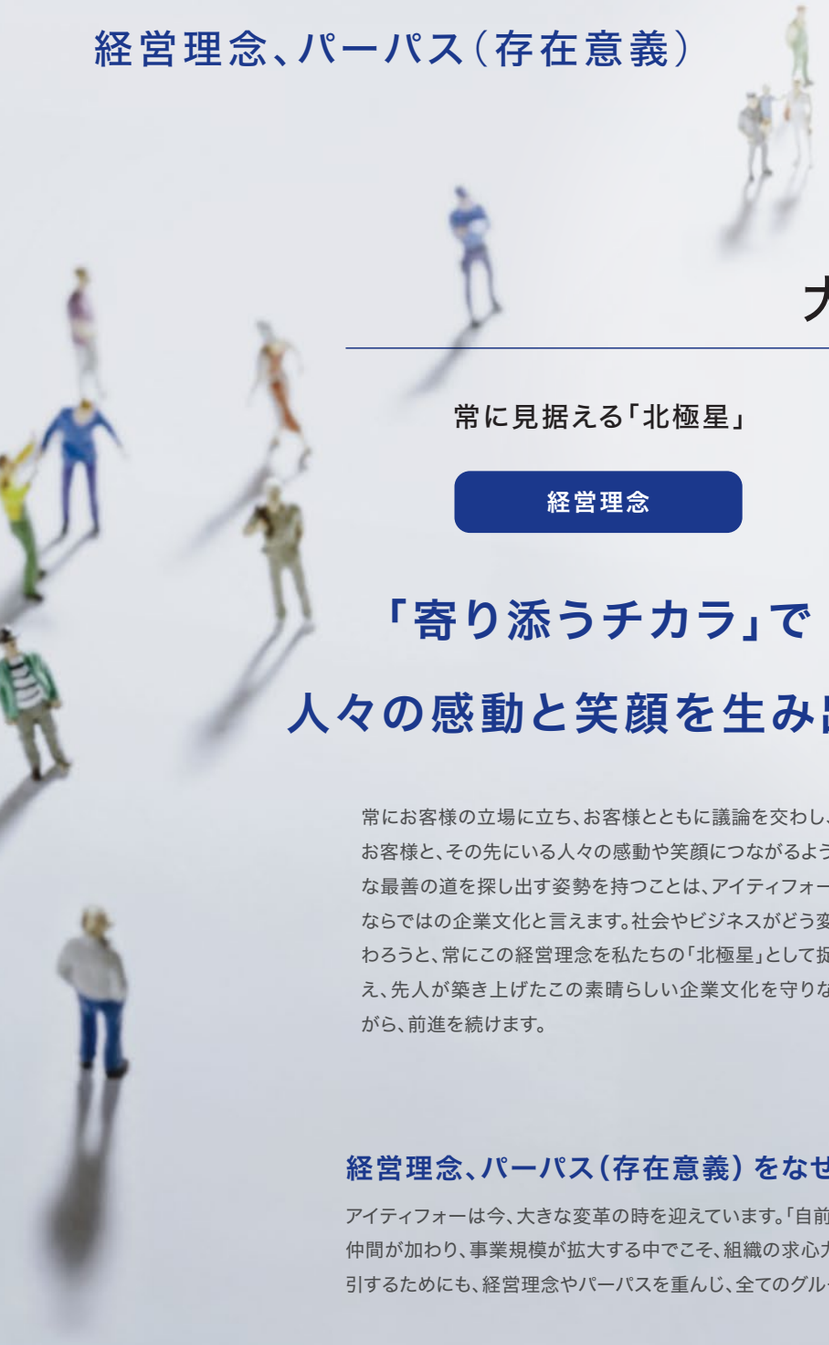


ITFOR

2026

アイティフォー
統合レポート

ITFOR Integrated report



大切にする価値観

常に見据える「北極星」

経営理念

「寄り添うチカラ」で
人々の感動と笑顔を生み出す

常にお客様の立場に立ち、お客様とともに議論を交わし、お客様と、その先にいる人々の感動や笑顔につながるような最善の道を探し出す姿勢を持つことは、アイティフォーならではの企業文化と言えます。社会やビジネスがどう変わろうと、常にこの経営理念を私たちの「北極星」として捉え、先人が築き上げたこの素晴らしい企業文化を守りながら、前進を続けます。

迷ったときに使う「コンパス」

パーパス（存在意義）

地方創生による社会貢献を通して
すべての人や企業にサプライズを提供し、
持続可能な未来の発展に貢献します

アイティフォーは、常に地方、地域の発展を見つめ、歩み続けています。50年以上の長きにわたり、地域金融機関、地方自治体、地方百貨店などのお客様に支えられてきた私たちには、地域経済や社会のネットワークを支えるお客様とともに、地方、地域の活性化を図り、社会に貢献する責任があります。
AIを含めたITのチカラを存分に活用することで、すべての人や企業にサプライズを提供し、効率的で豊かな社会をつくりあげることが、私たちの進むべき唯一の道です。

経営理念、パーパス（存在意義）をなぜ大切にしているのか

アイティフォーは今、大きな変革の時を迎えています。「自前主義」を貫いてきたこれまでのビジネスモデルを脱却し、多様なパートナーとの共創へと歩みを進めます。新しい仲間が加わり、事業規模が拡大する中でこそ、組織の求心力を高める強固な軸が不可欠です。当社のアイデンティティをより確固たるものへと進化させ、持続的な成長を牽引するためにも、経営理念やパーパスを重んじ、全てのグループ社員に浸透させていく必要があると考えています。

アイティフォーの歩み

すべては笑顔あふれる社会のために

アイティフォーの創業は1972年。千代田情報機器株式会社の社名で、海外の情報機器やシステムの販売からスタートしました。1975年には国内初のオンラインPOS、1983年には個人信用情報照会およびオートコール（延滞債権管理）システムを開発。以降、地域金融機関、地方自治体、地方百貨店など地域経済や社会を支えるお客様の課題に寄り添い、課題に応じたシステムやサービスを提供することで、事業領域を広げてきました。

私たちはこれからも、地域とともに歩み続けます。1970年代から先進技術を社会実装してきたDNAを受け継ぎ、時代の変化を柔軟に捉え、培ってきた業界知見と顧客基盤に、AIをはじめとする先進技術や多様なパートナーの知見を掛け合わせて新たな価値を創出し、持続可能な人々の暮らしを支えていきます。

情報システムに関するニーズの変化

SINCE 1972

銀行オンラインなど、
サービス業務の
リアルタイム化の黎明期

NOW

AIをベースとした
IT基盤をもって、
人々の暮らしを支える時代



進化するアイティフォーのビジネス

- 1972年 通信システム事業
- 1975年 流通システム事業
- 1983年 フィナンシャルシステム事業
- 1999年 CTIシステム事業
- 1999年 eコマースシステム事業
- 2008年 公共システム事業
- 2017年 決済ビジネス事業

アイティフォーの価値創造ストーリー

持続可能な経営基盤
- 組織力の強化
- マテリアリティへの取り組み
- 強固なコーポレート・ガバナンス
- 経営理念
- パーパスの浸透

〈投入する資本〉
- 財務資本
- 知的資本
- 顧客資本
- 人的資本

〈提供する機能〉

特定業種向けのソリューション
(金融機関向け、公共機関向け、小売業／EC事業者向けなど)

カスタマーサービス
(キャッシュレス決済やコンタクトセンター、セキュリティ・基盤ソリューション、システム導入後の保守、運用など)

▶▶▶ P.22「経営資本の磨き上げ」

現在のビジネス

地域社会の中核を担う顧客との強固なパートナーシップとストック収益基盤



地方創生による安心・安全な社会の実現に向けて

ビジネスの拡大
顧客基盤の拡大／プロダクトの横展開／営業体制強化

ビジネスモデルの進化
新プロダクト開発／開発要員強化・手法改編

〈生み出したい価値〉

人々の豊かな時間の創出



「HIGH FIVE 2033（FY2033構想）」のビジネスイメージ

既存事業の拡大に加え、自社の技術力とパートナー企業のチカラを掛け合わせ、地域の市民にも届く新たなビジネスを展開

▶▶▶ P.20「事業概要と収益構造」

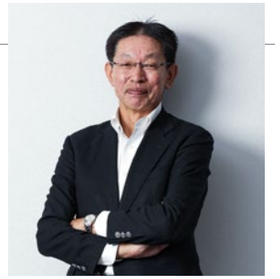
▶▶▶ P.23〜43「事業の強化とさらなるスケールアップ」

目次

02- **イントロダクション**

06- **トップメッセージ**

06- 会長メッセージ





10- 社長メッセージ

15- ［特別企画］
お客様×社長対談



19- **アイティフォーの価値創造ストーリー**

アイティフォーのビジネスと強み

20- 事業概要と収益構造

21- 5つの強み

22- 経営資本の磨き上げ

事業の強化とさらなるスケールアップ

23- HIGH FIVE 2033／
3つの成長ドライバー

24- 既存事業の深耕と拡大

27- パフォーマンスの最大化に向けて

29- ［Topics］
デジタルプラットフォームの新機軸

30- 各事業の戦略と活動

37- 外国人プラットフォームの構築

39- Growth Capital構想

40- ［特別企画］
社員座談会



持続可能な経営基盤

44-財務資本の強化

46-人的資本の強化

50-サステナビリティ経営の強化

55-ガバナンスの強化



63- **経営・財務情報**

編集方針

本報告書は、株式会社アイティフォーの持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的に、重要な財務情報・非財務情報を関連づけながら、特に重点的にご紹介したい事項を中心に編集しています。
編集にあたっては、IFRS財団が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省の「価値創造のための統合的開示・対話ガイダンス」などを参考にしています。
本報告書が、皆さまの当社に対するご理解を深める一助となり、今後の建設的な対話の一端としてご活用いただければ幸いです。

■報告対象
・報告対象範囲 ：当社およびアイティフォーグループ
・報告対象期間 ：2025年4月1日～2026年3月31日
（一部、2026年4月以降の情報を含みます）
・公開時期 ：2026年11月

■免責事項：
本報告書は、株式会社アイティフォーの企業価値向上に向けた取り組みに関する情報の提供を目的としたものであり、株式の購入や売却を勧誘するものではありません。また、業績予想や将来の見方については保証の限りではありません。

※当報告書内に記載されている会社名およびサービス・製品名等は、各社の商標または登録商標です。

より詳しい情報は、当社ホームページをご参照ください。 https://www.itfor.co.jp

発行日 2026年11月（次回：2027年10月予定）